

● (株)ホンダ二輪・新宿

教育最前線

連載 41

業務で二輪車を利用する企業への安全教育の強化のために「安全運転研修センター」を開設

7月14日は(株)日立ビルシステム東関東支社のメンテナンスエンジニア12名を対象に講習会を実施した。メンテナンス

十分な車間距離をとる ことの重要性を伝える

背景を話す。... 商品を売るだけでなく、安全に乗っていただくための教育も重要という考えのもと、できるだけ多く、講習の機会を提供するため、専用の施設を設けることにしました」と安全運転研修センター開設の背景を話す。

(株)ホンダ二輪・新宿では、ジャイロキヤノピーなどビジネス用途の原付三輪スクーターを納入している企業を対象に、安全運転講習会を18年間にわたり行っている。これまで講習会の会場は自動車教習所を利用していたが、今年5月に同社は講習会専用の安全運転研修センターを埼玉県戸田市内に開設した。



実技訓練の前に正しい乗車姿勢の模範を示す



狭路走行では受講者一人ひとりの運転を観察してアドバイス

この日はホンダ二輪・新宿の岩辺さんと、二輪車安全運転インストラクターの小原應信さん、室信太郎さん、五十嵐昭子さんが実技訓練の指導を担当した。実技訓練の最初は狭路走行。受講者は三輪スクーターに乗り、パイロンで囲

スエンジニアはエレベーターなどの昇降機の保守・点検業務のための移動に三輪スクーターを活用している。

今年5月に開設された安全運転研修センターは敷地面積が2050㎡で、座学ができる教室(30席)も完備



1時間の休憩をはさんで、右直事故の疑似体験が始まる。まず、岩辺さんが受講者を集めて「バイクが直進中に交差点を右折するクルマと衝突してしまうケースがあります。お互いが見えていないはずなのに、なぜ事故になってしまったのでしょうか?」と問いかける。「クルマのドライバーは、バイクは来ないだろうと思ってしまふから」と受講者の一人が答えた。バイクは車体が小さいので、クルマのドライバーから見ると実際の位置よりも遠くに見える、近づいてくる速度も遅く感じてしまう。だから、右折できると判断してしまうのだと岩辺さんが解説。

右直事故がなぜ起きるのか 受講者に考えてもらう



旗の合図を前車の急ブレーキと想定して急制動で停止

またたコースを低速で進む。狭いカーブを曲がる時、膝や足が開いてしまうなど乗車姿勢が崩れてしまう受講者が多いため、正しい姿勢を維持したまま行きたい方向に顔を向けるとスムーズに曲がれると、インストラクターがアドバイスした。次はブレーキング。合図によるブレーキングではインストラクターが持っている旗を上げたタイミングで急制動をかけて止まる。旗を認知してからブレーキをかけるまでに空走距離が発生していることを受講者に理解してもらうことがねらいだ。そして、自分の前を走っているクルマが急ブレーキをかけて止まっても追突しないように、前車との十分な車間距離の目安として車間時間を2秒以上とるように伝えた。



法規履行走行では受講者が交通ルールを正しく理解しているかインストラクターがチェックしていく

最後は法規履行走行。一般道路に見立てたコースを走行してもらう。受講者全員が交通ルールに則った走行ができたところで実技訓練は終了。「交通ルールを守るというのは、やってみると簡単だということがわかったと思います。これを忘れないように今、見せていただいた運転を日々の業務の中でも継続してください」とインストラクターの五十嵐さんが締めくくった。

五十嵐さんは7年前からホンダ二輪・新宿による講習会に協力している。「二

地域貢献活動にも活用していきたい

この後、受講者に疑似体験(写真右下参照)をしてもらい、右折待ちなどのクルマなどで交差点内の状況がよくわからない時は危険予測することが重要で、いつでも停止できる速度で交差点に進入するように、岩辺さんが補足した。

では、なぜバイクはそのままでの速度で直進してしまうのか、再び岩辺さんが質問すると、「直進のほうが優先だ」という答えが返ってきた。「皆さんが直進のバイクだったら、自分のほうが優先だという気持ちで捨てるべきです。逆に、右折待ちのクルマに道を譲るくらい余裕を持ちましょう」と岩辺さんは訴えた。



インストラクターが問いかけながら、右直事故が起きる原因を受講者に考えさせる

(株)ホンダ二輪・新宿は、この安全運転研修センターを活用して、講習会の開催数を増やしていきたい考えだ。「二輪・三輪の講習会だけでなく、地域貢献活動の一環として、地域の自治体と連携しながら自転車などの交通安全教室の開催にもチャレンジしていきたい」と岩辺さんは今後への抱負を語った。



写真左から(株)ホンダ二輪・新宿セーフティサポートサービス部マネージャーの岩辺さん、二輪車安全運転インストラクターの五十嵐昭子さん、小原應信さん、室信太郎さん



右直事故の疑似体験。右折待ちのクルマの脇を進み、交差点中央にパイロンを発見したら、急制動で停止する